

研究課題名

17 迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に資する研究

研究の概要

行政検査（積極的疫学調査、感染症発生動向調査、食中毒検査等）で搬入された、①病原体、②生体試料（咽頭拭い液、血液、糞便等）中の病原体、③生体試料から分離された病原体を、次世代シーケンサー（NGS）を用い、大規模遺伝子データ解析を行う。その際、検査依頼書（性別、年齢、分離部位、症状、渡航歴等）または NESID（感染症サーベイランスシステム）に登録されている情報を合わせて疫学解析を行う。

研究期間

平成 28 年度から平成 30 年度まで

研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 大井洋

研究責任者の氏名

東京都健康安全研究センター 微生物部
貞升健志

オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。